

治療審査委員会申請書類

患者ID : 0

患者氏名	0		生年月日	明治33年1月0日		年齢	0	性別	0
診療科	0	区分	☐	階病棟	☐	外来	申請医師名		
診断名						Stage			
告知内容									
治療方法	プロトコール名	GS(GEM+S1)						告知Grade	
投与計画	身長	0	cm	体重	0	kg	体表面積	0	m ²
	血清クレアチニン		ml/dl	Cockcroft-Gault 推算Ccr		性別無し ml/min			
	※女性は0.85を掛けています								
	S1 80 mg/日 1日2回 朝夕食後 14日間内服し7日間休薬する (2投1休) (BSA1.25m ² 未満 80mg/日、1.25~1.5m ² 未満 100mg/日、1.5m ² 以上 120mg/日)								
	ゲムシタビン 0 mg(標準量1000mg/m ²) Day1,8								
	インターバル3週								
	Day1,8								
	① ハロ/セロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + テキサート1.65mg<3A> [4.95mg] 120ml/hr 30分かけて投与								
	② 生食 100ml メイン用本体								
	③ ゲムシタビン 0 mg (1000mg/m ²) + 生食100ml 30分で投与								
内服 デカドロン錠4mgは省略(症例に応じ追加;1回1錠 1日1回朝食後 2-3日目、9-10日目に内服)									
S1 <腎機能障害時の投与量変更例>									
Ccr(ml/min)		≥ 80	60~80	30~60	<30				
		減量なし	初回投与量 (必要に応じて 1段階減量)	1段階以上の 減量投与から 開始	投与不可				
投与開始日 年 月 日									
併用薬の確認	併用禁忌 : 他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬、フッ化ピリミジン系抗真菌薬(フルシトシン)、胸部放射線照射 併用注意 : フェニトイン(中毒症状の発現)、ワルファリン(作用増強)、他の抗悪性腫瘍剤、腹部放射線照射								
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9IU/ml ()								
予測される副作用	骨髄抑制、感染症、末梢神経障害、麻痺、ショック、アナフィラキシー、間質性肺疾患、心筋梗塞、うっ血性心不全 脳卒中、肺塞栓、難聴、耳鳴、消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、重篤な腸炎、腸管閉塞、腸管麻痺 肝機能障害、黄疸、脾炎、急性腎障害、中毒性表皮壊死融解症、播種性血管内凝固症候群、皮膚障害 白質脳症、涙道閉塞など								
備考	ゲムシタビンは60分以上かけて投与すると副作用が増強する								
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可								

担当委員署名

許可決定日時 年 月 日 有効期限 年 月 日